

『悔しい』 作…ポチ子

自分の幸せを語る人を見て、

私の不幸を笑われているような気がした。

多分きつとあの人は何も考えてない。

自分に起こった出来事を、

ただ思い出話のように語っているだけ。

私の不幸なんて見ていない。

そんなこと分かっている。

でも、それが悔しかった。

自分の幸せだけに目を向けるあの人が、

憎らしくてたまらなかった。

せめて私の不幸を憐れんでくれる方がマシなのに。

それか、お前よりも私の方が幸せだ。

こんなにお前は不幸なんだぞ。

そう言ってくれた方がいい。

私の不幸を見てくれ。

私を見てくれ。

だから、あの人に悪意を押し付けてやった。

人の不幸を笑う奴だって、

そうすることにした。